

園長室だより

こもれび (木漏れ日)

令和 2年 6月 3日

附属幼稚園 第1号(創刊号)

発行者 實藤 浩一

幼稚園に活気が…

分散登園でスタート😊



緊急事態宣言の解除を受け、本園では5月21日から2週間、クラスを5グループに分けて分散登園を開始しました。園児がいない休園時には音もなく閑散としており、時折、スズメやハト、カラスが散歩にやって来る程度でした。分散登園が始まり、人数的には全体の1/5ですが、それでも園庭を元気に走り回ったり百年の森へ出かけたりする園児の姿や声の響きはパワフルで、園全体に活気がみなぎってきました。

さて、明日(6月4日)からはクラスを2グループに分けて、2日に1回の分散登園になります。人数が1/2の間に園バスの乗り方やマナー、そして、給食時の注意やマナーと段階的に進め、全園児登園へと繋げていく予定にしています。北九州市では、小・中学校の児童・生徒の感染が相次いで確認されています。福岡市でも、いつ発生してもおかしくない状況だと思えます。園では、保育中の定期的な遊具の消毒や降園後の消毒など感染防止に努めていますが、園だけで防ぐことは不十分です。各ご家庭におかれましても、お子さんの毎日の体温測定など体調管理の徹底をお願いします。連携を強化しながらコロナ対策を講じていきたいと思います。

♪よろしくお願ひします♪

分散登園等で既に顔を合わせているかと思いますが、改めまして自己紹介をさせていただきます。本年の4月1日付で着任しました實藤 浩一(さねふじ こういち)と申します。

昭和50年4月、大野城市立大野小学校を振り出しに、筑紫地区の小学校や福岡教育大学附属久留米小学校等での教育に38年間携わり、平成25年3月春日市立大谷小学校の校長を最後に定年退職しました。その後、那珂川町(現 那珂川市)教育委員会を経て、平成26年4月から筑紫女学園大学実習支援課に勤務しました。その折には、筑紫女学園大学と附属幼稚園との定例の協議会を開催し、学生の幼稚園実習やボランティア、大学との連携の在り方等について協議し、旧園舎の本園にも4~5度訪問したことがありました。

さて、私は、幼稚園教育については未経験ですが、園児にとって「明日も行きたくなる幼稚園」になるよう全力で臨みたいと思っています。

前園長 八谷俊一郎先生が幼稚園の教育目標に掲げてありました「子どもが一番、子どもが真ん中、子どもに真っ直ぐ」を継承し、全職員が一丸となって子どもの良さや可能性を引き出し、さらに伸ばしていきたいと考えています。至らぬ点があるかと思いますが、なにとぞ、よろしくお願ひいたします。

■こもれび(園長室だより)■

園長室だよりを「こもれび」としました。附属幼稚園歌の歌詞からネーミングしました。

「こもれび」の中で元気に明るく活動する子どもたちの様子を紹介することができたら…と考えています。こちらこそ、よろしくお願ひします。